製造業のAI活用メニュー

製造業AI活用 4コマカタログ

8本の動画を、操作の流れに沿って4場面ずつ紹介

① 社内ナレッジ検索	射出成形・押出の過去記録を使う	2–3
② 構想シミュレーション・設計書	構成案を比べて設計書のドラフトへ	4
③ 仕様書から見積・積算	見積・工数の根拠と図面の記録を確認	5–7
④ 工程ドラフト	帳票から日程案を起こし、予定を確認	8–9

画面・数値は説明用の架空サンプル。
提供済み製品の実績や確定精度を示すものではない。

2026年10月5日

動画付きカタログを開く

Plus Synergy

1 社内ナレッジ検索｜射出成形

条件表と不良メモを、過去の事例と照合

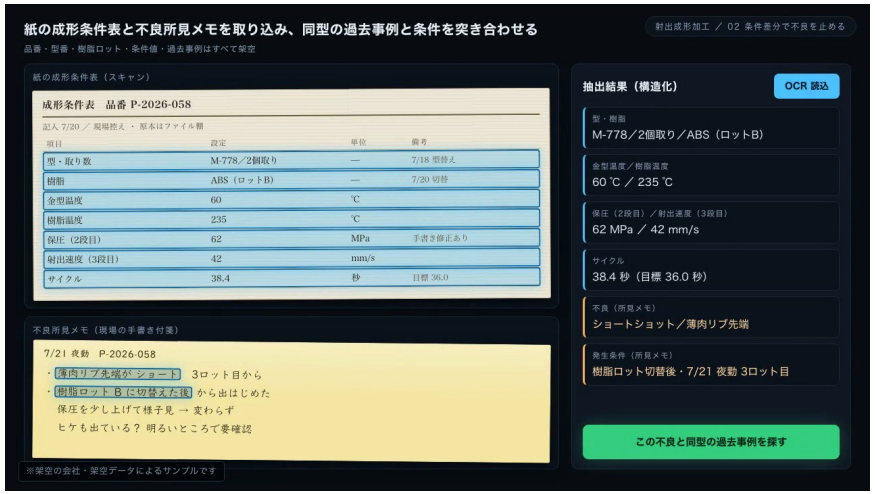
1 紙や口頭に散らばる課題を確認

0:21



2 条件表と不良メモを読み取る

0:27



3 同じ型の過去事例と条件を比べる

0:33



4 過去の対策と条件の差を確認

0:39



画面は架空データによる説明用デモ。実装する範囲はご相談のうえ決定。

1 社内ナレッジ検索｜押出

過去の記録をもとに、立上げ条件とロスの目安を確認

1 過去の条件表と立上げ記録を読む

0:21



2 これから流す樹脂と断面を選ぶ

0:27



3 条件と立上げロスの目安を見る

0:33



4 採用した条件を記録に残す

0:39



画面は架空データによる説明用デモ。実装する範囲はご相談のうえ決定。

2 構想シミュレーション・設計書

構想の案を比較し、選んだ案を設計書のドラフトに整理

1 数量やタクトなどの条件を入れる

0:07



2 構成の違う案を比較する

0:24



3 選んだ案の工程と設備を確認

0:29



4 設計書のドラフトを確認

0:34



構想段階の説明用サンプル。最終の設計判断は設計者による確認が必要。

Plus Synergy

動画を開く

カタログを開く

3 仕様書から見積・積算

仕様書の項目を起こし、見積と積算の内訳を確認

1 仕様書の材質・寸法・数量を読む

0:07



2 見積に必要な項目を起こす

0:19



3 類似案件の単価の目安を参照

0:31



4 見積と積算の内訳・合計を見る

0:42



数値・単価は架空のサンプル。提案時の概算であり、確定見積の精度を約束するものではない。

Plus Synergy

動画を開く

カタログを開く

3 図面から見積・工数の確認

似た図面を照合し、工程別の工数の根拠を確認

1 引合の図面と社内図面を読み込む

0:24



2 形が近い過去図面を探す

0:29



3 寸法や形状の差を照合する

0:35



4 工程別の工数の内訳を確認

0:41



画面は架空データによる説明用デモ。実装する範囲はご相談のうえ決定。

動画を開く　　カタログを開く

3 図面に付いた動画・メモの検索

図面に付いている動画やメモを、中身から検索

1 図面に付いている記録を確認

0:13



2 ファイル名だけでは見つからない

0:22



3 動画やメモから項目を起こす

0:42



4 中身で探し、元の図面に戻る

1:01



画面は架空データによる説明用デモ。実装する範囲はご相談のうえ決定。

動画を開く

カタログを開く

4 工程ドラフト｜帳票から日程案

帳票から日程案を作成し、人が確認して工程へ反映

1 発注書から案件の項目を読む

0:42



2 工程の順序と空きから日程案を作る

1:09



3 担当者が日程案を確認して確定

1:26



4 蓄積した記録を次の案件に活かす

1:53



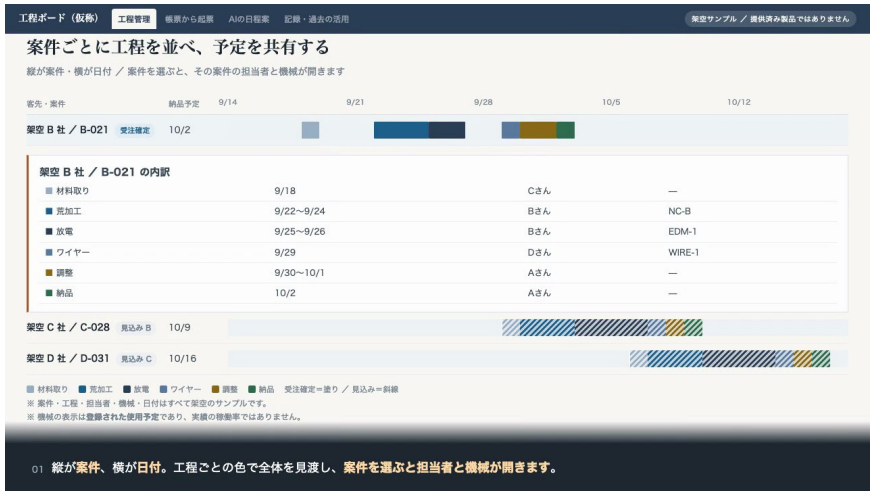
画面は架空データによる説明用デモ。実装する範囲はご相談のうえ決定。

4 工程ドラフト｜案件の工程表

案件を並べた工程表で、予定と担当・設備を確認

1 案件ごとの予定を一覧する

0:20



2 案件を選んで担当と設備を見る

0:25



3 工程の順序・納期・重なりを確認

1:21



4 確定した予定を一覧に追加

1:40



画面は架空データによる説明用デモ。実装する範囲はご相談のうえ決定。

Plus Synergy

動画を開く

カタログを開く